

# 北川勝彦教授 略歴・業績目録

## 履 歴

1947年	大阪府に生まれる
1966年	大阪府立三国丘高等学校卒業
1970年	関西大学経済学部卒業
1972年	関西大学大学院経済学研究科修士課程修了
1975年	関西大学大学院経済学研究科博士課程所定単位取得退学
1979年	関西外国語短期大学 専任講師
1982年	関西外国語短期大学 助教授
1992年	四国学院大学教養部 教授
1995年	関西大学経済学部 教授 （現在に至る）
2013年	放送大学大学院 客員教授 （現在に至る）

## 学位及び論題

1972年3月31日	経済学修士（関西大学大学院） 「イギリス産業革命期の綿工場における児童労働の実態」
1999年2月28日	博士（学術）総合研究大学院大学 「日本-南アフリカ通商関係史研究」

## 賞 罰

2014年5月25日	日本アフリカ学会 特別功労賞
------------	----------------

## 主な社会的活動

アフリカ日本協議会（特活）、国際日本ボランティアセンター

## 主 要 業 績

### 1. 単著

- (1) 北川勝彦『日本-南アフリカ通商関係史研究』国際日本文化研究センター、1997年
- (2) 北川勝彦『南部アフリカ社会経済史研究』関西大学出版部、2001年

### 2. 編著・共著

- (1) 北川勝彦・平田雅博（編著）『帝国意識の解剖学』世界思想社、1999年
- (2) 北川勝彦・高橋基樹（編著）『アフリカ経済論』ミネルヴァ書房、2004年
- (3) 北川勝彦（編著）『脱植民地化とイギリス帝国』ミネルヴァ書房、2009年
- (4) 北川勝彦・井野瀬久美恵（編著）『アフリカと帝国—コロニアリズム研究の新思考にむけて—』晃洋書房、2011年
- (5) 北川勝彦・高橋基樹（編著）『現代アフリカ経済論』ミネルヴァ書房、2014年
- (6) 北川勝彦「南ローデシア植民地における白人移民社会の形成と帝国意識」木畑洋一（編著）『大英帝国と帝国意識-支配の深層を探る—』ミネルヴァ書房、1998年
- (7) 北川勝彦「戦間期における日本の南アフリカ貿易と企業活動」杉山伸也・リンダ・グローブ（編著）『近代アジアの流通ネットワーク』創文社、1999年
- (8) Katsuhiko Kitagawa, “Japan’s Trade with South Africa in the Inter-War Period: A Study in Japanese Consular Reports”, in K. Hirano and C. Alden (ed.), *Japan and South Africa in a Globalizing World: A Distant Mirror*, Hampshire: Ashgate, 2003.
- (9) Katsuhiko Kitagawa, “Japanese Competition in the Congo Basin in the 1930s: A Study of Japanese Consular Reports”, in A.J.H. Latham and H. Kawakatsu (ed.), *Intra-Asian Trade and the World Market*, London: Routledge, 2006.
- (10) Katsuhiko Kitagawa, “Japan’s Economic Diplomacy in Colonial Africa during the Inter-War Period : Japanese Consular Reports”, in A.J.H.Latham and H. Kawakatsu (ed.), *Asia and the History of the International Economy : Essays in Memory of Peter Mathias*, London : Routledge, 2018.

### 3. 学術論文

- (1) 北川勝彦「イギリス南アフリカ会社史に関する一考察 —1890-1924年の北ローデシアにおける活動を中心にして—」『アフリカ研究』23号、1983年
- (2) 北川勝彦「戦前期日本の領事報告にみられるアフリカ経済事情調査の研究-外務省通商局『通商彙纂』を中心にして—」『アフリカ研究』35号、1989年
- (3) 北川勝彦「第二次世界大戦後の日本—アフリカ関係史 —1950年代と1960年代を中心にして—」『歴史学研究』920号、2014年